

# 声 Voice

## —若い世代—

朝日新聞 2020年（令和2年）9月29日（火）

### コンビニ陳列ロボ 課題あり

大学生 大崎 直樹  
（奈良県 20）

コンビニ大手2社が商品陳列のロボットを導入するという記事（7月1日朝日新聞デジタル）を読んだ。ベンチャーが開発した、VR（仮想現実）端末を使って遠隔操作で商品の補充ができるヒト型のロボットだという。しかし、作業効率や出来栄を考えると、課題があると感じた。

私は1年ほどコンビニでアルバイトをしていた。商品補充では、店に

よって売り出しているものや売れるものなどを考えて補充の量を変えていた。遠隔操作をする人にその情報を伝える時間があれば、自分たちで補充した方が早いのではと感じた。

だが、遠隔操作のロボットを使えば、1人で複数店の補充作業ができるので、コンビニ業界が抱える人手不足の解消につながる可能性がある。店舗へのロボット導入により様々な課題が解決されるのであれば、コンビニはより便利になるだろう。

承諾番号「20-3710」

※朝日新聞社に無断で転載することを禁じる。